

# 湘南にのみや 議会だより



改修・整備が終わったドッグラン  
背景のミニトレーラーを含め、地区全体の  
運用は事業者任せられる

令和2年度一般会計決算は**不認定**

(本紙2ページ)

東大果樹園跡地活用の事業者が決まる

どうなる？今後の事業展開

## 9月定例会(9/3～9/28)



©東京ハイジ/ニ宮町



議会のHPIはこちら→

◆ 令和2年度一般会計・特別会計決算 .....	2、3
◆ 一般会計補正予算(4～7号) .....	4、5
◆ 4議員が決算総括質疑 .....	6、7
◆ 議員提出議案、条例の扱い .....	8
◆ 5議員が一般質問 .....	9～11
◆ 常任委員会の継続調査 .....	11
◆ 商工会へインタビュー・議会の傍聴がしやすく・編集後記 .....	12

# 令和2年度 決算

# 一般会計歳出 賛成3・反対9で不認定



令和2年度、コロナ対策として、5月臨時会から特別定額給付金（一人10万円）、子育て世帯臨時特別給付金、給食費補助などの生活支援、事業者に対する支援、感染対策などが盛り込まれた。

小中学校や6か所の地区集会施設の耐震性を含めた現況調査が実施され、今後の修繕などの方向性について地域との協議を始めた。

新庁舎整備について町民ワークショップが開催され、（仮称）駅・ラディアン周辺施設まちづくり計画の提案に引き継がれた。

区分	令和2年度	令和元年度	前年比	採決結果	
一般会計	114億8,122万円	88億1,898万円	130.2%	否決（3：9）	
（うちコロナ対策費関連）	32億6,485万円	—	—	—	
特別会計	国民健康保険	28億 443万円	30億7,444万円	91.2%	可決（11：1）
	後期高齢者医療	9億6,620万円	8億7,399万円	110.5%	可決（11：1）
	介護保険	26億1,673万円	25億2,704万円	103.5%	可決（11：1）
	下水道事業	8億8,842万円	9億5,989万円	92.6%	可決（11：1）
歳出決算合計	187億5,700万円	162億5,434万円	115.4%	—	

（千円以下四捨五入）

- 【決算審査特別委員会委員】
- 二宮せつこ 大沼英樹  
羽根かほる 坂本孝也  
小笠原陶子 渡辺訓任  
根岸ゆき子
- ⑤ 民生委員・児童委員の活動に際しては、コロナ禍においても実態に則した活動の支援をされたい。
- ⑥ 学校教育では、コロナ禍においても基礎的な教育が必ず受けられるよう、オンラインや動画教材等環境面の早急な整備をされたい。
- ⑦ 庁舎内に無線LANを構築し、各種審議会・委員会の運営にあたっては、庁舎内外を結んだオンライン会議の開催の検討をされたい。
- ⑧ ウッドチップセンター運営事業は、委託事業者の運営状況等を把握したうえで適正な管理・監督に努められたい。

# 114億8,122万円 (4特別会計は認定)

※決算が不認定になった場合、行政は具体的な対策を講じたときには、議会に報告、町民に公表する必要がある。

## 賛成討論

新型コロナ感染対策の補助金活用は、特に事業者支援を評価。突然の義務教育休校に対し、学童保育運営早朝受入実施を高く評価。

(小笠原)

行政の隙間を埋める住民と町との協働チャレンジ、コロナ禍の尽力を評価。新しい政策施行への勇気と信頼構築に議会も創造力必要。

(一石)

## 反対討論

予算の活用方法に、町民に理解を得られるような説明が不足。各委託事業は事業者への指導不足。適切な行政運営を望み反対。

(羽根)

令和2年度の事業運営に、指摘事項がこんなにも多く出た。その負の結果が、1票差で可決した令和3年度の予算審議に現れた。

(坂本)

東大跡地、中里キッズ、ウッドチップ過積載は説明不足。人口目標、新庁舎ワークショップ、コロナ関連経済対策にビジョンなし。

(松崎)

コロナ対策含め諸施策・財政支出は評価。一方、拙速な業務委託や小中一貫教育校の推進、新庁舎整備の遅れは町民要求に応えず。

(渡辺)

新庁舎や業務委託ほか、突然の方針転換や情報開示しない閉鎖的体質等、指摘されつつ改善しない町政運営を認めることはできない。

(野地)

建設費の20%に及ぶ補助金を逸失し5年で4億とした庁舎整備基金は2年半で3.2億円、委託先の過積載運搬も公表せずモラルに警告。

(大沼)

## 決算審査特別委員会

### (審査意見)

① 東大果樹園跡地活用事業については、協議会の運営を含め着実に事業を進められたい。

② 学童保育や子育てサロンの業務委託については、業者の選定や運営管理等、再度、幅広く見直し・検討をされたい。

③ 町民運動場、町立体育館を含めて、施設等の管理委託については、明確な数値化等を行い直営との比較検証をし、今後の委託業務の在り方の基準を示されたい。

④ 子育てに関する事業については、LINE等を活用した相談手法を取り入れ、妊婦健康診査補助金に改善を加えるなど、切れ目のない支援を充実されたい。

# 一般会計 補正予算

第4・5号  
専決処分

## 豪雨被害復旧に6,138万円 ワクチン集団接種に1,865万円

(議案第34号) 全会一致で可決

災害対策基金より6,138万円を繰り入れ、7月3日の豪雨災害に対する早期復旧工事実施。

- ・一色地区土砂撤去、兎沢しゅんせつ 2,000万円
- ・二宮小南側町道土砂撤去、水路確保 2,137万円
- ・吾妻山公園土砂崩れ暫定的措置 2,001万円



(議案第35号)

全会一致で可決

- ・新型コロナウイルス  
ワクチン接種事業  
7月～9月分として1,865万円  
全額国庫補助。

吾妻山からの土砂が噴き出した水路は修復された。

第6号

## 施設修繕・吾妻山公園修復・ワクチン接種、 基金積み立てなどに7億8,600万円

(議案第38号) 賛成9：反対3で可決

(主な歳入増)

地方交付税4億5,112万円、国庫負担金1億6,473円、繰越金2億1,137万円。

★基金積立金 6億5,155万円

- ・財政調整基金積立金 (2億5,000万円)
- ・公共施設整備基金積立金 (1億7,000万円)
- ・地域福祉基金積立金 (55万円)
- ・災害対策基金積立金 (6,100万円)
- ・庁舎整備基金積立金 (1億7,000万円)

★新型コロナウイルスワクチン接種事業 7,918万円

10月～11月の2か月分。12歳以上の希望者全員が11月末までに接種できる見込み。  
全額国庫補助。

★公園等維持管理運営経費吾妻山復旧・  
調査・設計委託 750万円

★修繕関係(主なもの)

- ・山西プール幼児プール循環浄化装置交換 (788万円)
- ・町民運動場浄化槽修繕 (128万円)

- ・学校給食施設修繕 (172万円)
- ・一色小学校北棟階段室等漏水修繕 (124万円)
- ・二宮中学校シャッター修繕 (130万円)
- ・町民センター冷温水配管水抜き工事 (416万円)

<その他>

- ★空家等対策推進事業 150万円
- ★学童保育所維持管理経費 96万円

### 討論

賛成

各施設の修繕、空家リフォーム・解体の補助金、詐欺被害防止電話購入補助金などは町民の要望に合っている。臨時財政対策債の活用を評価する。コロナ対策で、町からの支出で生活支援の充実を求める。(渡辺)

反対

そもそもの予算組みが適当なのか、大きな疑問を感じる。臨時財政対策債で借りた額以上の金額を基金に積み立てることは理解できない。大型事業の計画を予定するなら、基金は当初予算に組み込むべき。(大沼)

# 4～7号補正で予算総額は93億843万円に

※千円以下を四捨五入

第7号

コロナ対策と

町民運動場・町立体育館管理委託の再直営化等に1,760万円

(議案第48号) 賛成7:反対5で原案可決

(歳入)

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金 (1,760万円)

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(事業者支援分)で、市町村に追加交付。

(支出)

★第2次中小企業等継続支援金

(1,950万円 うち国庫補助金1,712万円)

昨年・一昨年と比較して4月から9月までの月間売上減少事業者に対し、基準該当月あたり5万円または2万5千円(最大3か月)を支給。町が直接案内し申請を受理。(詳細は産業振興課へ)

★タクシー事業者感染症対策支援金 (48万円)

車両内の感染対策費用として、1台につき2万円、二宮営業所登録の24台に対して支援する。昨年度はバス事業者に対して行っている。全額国庫補助。

★町立体育館・町民運動場の管理直営化(※)

(△140万円)

町立体育館・町民運動場の受付管理を委託から令和4年2月より直営に戻すことで減額。

(※)を削除する修正案(提出:大沼議員、賛同:羽根、松崎、坂本議員)が提出されたが、原案賛成多数で可決した。



町民運動場とともに管理委託を直営に戻すことになった町立体育館

## 討論

賛成 (二宮、野地、渡辺、前田、一石)

- ・利用者や町職員のコミュニケーションの改善を期待する。
- ・従事者の身分、処遇の確保・改善を望む。
- ・高額な委託料は無駄な支出。
- ・委託のプロセスが不鮮明であったことは指摘しておく。

反対 (羽根、松崎、坂本、根岸)

- ・委託を開始した限りは、効果を達成するよう追求すべき。



12歳以上まで予約が拡大されたワクチン接種。11月末まで全希望者の接種の目途が立った。

## 陳情

2件の陳情は、議会運営委員会で机上配布<sup>(※)</sup>と決まった。

○沖縄辺野古基地中止と普天間基地移転について  
(提出:現地住民団体と全国青年司法書士協議会)

○地球温暖化対策の強化を求める意見書  
(提出:湘南生活クラブ生活協同組合・湘南生活クラブコモンズなかぐん)

※担当課が存在しない、国策などの理由により審査しないこと。

# 令和2年度 決算

# 4名の議員



無所属  
根岸ゆき子

長期総合計画への取り組みと  
施設委託予算を問う

**Q** 第5次総合計画から第6次へ移行する時期となった。6次計画策定によせる町長の思いは。

**A** 第5次の理念に対する取り組みは先ほど話をしたが、6次に向けては様々な世代や立場の方から意見をいただき受け止める。いくつかあるが、災害による被害を最小限に食い止めるインフラ整備。国を挙げてのICT化に遅れを取らぬよう構え、新しい技術を生かすことで高齢化、少子化への効果を得る。人と人が接して不安や困り事に向き合う姿勢を守りつなぐ。SDGsの推進を町民の皆さんと歩む等。

**Q** 戦略的行政運営の令和2年度重点施策に施設管理委託化の推進を掲げ、体育施設運営を委託化。しかし今年それを直営へ戻すのはなぜか。予算編成過程は例年10月に担当課が次年度予算申請を出す。わずか半年の検証で担当課から直営化に戻す提案はあり得ないし、令和3年度予算最終町長査定時で直営化の決定はなかったから予算書に出てこなかった。議事録では12月まで町は委託化の意志がある。庁内議論は。

**A** 行政改革大綱の方針だ。説明の過程が見えなかったのは確か。700万の差額に見合った町民サービスの効果が出ていない。狙いがどうだったか今年4月になって担当課で比較検討し10月の契約改定もあったので協議し、民間委託の有効性を示すほどのことができない、と部内から意見が出てきたと聞いており、その経過を踏まえて今回に至っている。

**Q** 公共施設の温水プールの方針は。

**A** 過去から色々あったが、今となっては予防保全型の修理では申し訳ないがもう間に合わない。使えるうちはもちろん使っていく。



施設運営と雇用体制の方針は  
一緒に検討せよ



無所属  
小笠原陶子

コロナ禍の未就学児  
世帯の見守り支援は

**Q** 緊急事態宣言もまた延期になり新型コロナウイルス感染はまだ続く中で、子育てしやすい町、長く住み続けられる町について伺う。第2期二宮町子ども・子育て支援事業計画が制定された。策定時に課題として出ている日常的に子どもを見られる就学前の子ども世帯は3割だ。コロナ禍では孤立しがちな子育て世帯の支援はどうか。また、子どもの安全確保に登下校の見守りは高齢化で参加者減少地域がある。対策は。

**A** 保健センター「にのはぐ」では、各事業を中止や延期としたが、乳幼児健診やマタニティ教室などは適切な時期に行うため、現在の緊急事態宣言下で感染対策を行い開催。赤ちゃん訪問は、宣言期間中は対面を避け、電話での対応が主だが、支援が必要な世帯には訪問を現在も実施。相談事業は相談日に集まるのではなく、個別相談を受けオンライン相談もできる。

登下校の見守りは高齢化が進む地域では担い手不足は承知だ。教育委員会は、令和元年度に全ての学校に学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールとして運営し地域学校協働活動推進委員を学校に配置。町と教育委員会で支援。

**Q** 子育てサロンも休館。せめて図書館で絵本でも選びたいが休館。貸出はあるが検索タブレットを使って司書が案内するなど会話が成立する工夫を望む。子育て世代の相談は、電話ではなくてLINEの使用が多数だ。変更希望。

**A** 図書館の貸し出しは年齢や好みに合わせパッケージで貸し出すなど研究する。たしかに相談業務をZoomで始めたが利用ない。LINE活用はセキュリティの部分の研究する。

※他に小規模多機能型施設や貧困対策など質問。



緊急事態宣言中はすべての子育て  
支援施設は休館し、行くところなし

# が総括質疑

記事は質問者から提出された原稿を基に作成しています。



無所属  
松崎 健

持続可能な仕組み構築に向け、  
明確なビジョンを



神奈川ネットワーク運動  
一石 洋子

ウィズコロナは自然力を  
最大限活かす教育体系を

**Q** 定住人口確保は「自治体消滅の危機感から」との答弁がある。人口ビジョンに示した目標の達成で消滅しないとする根拠は。定住促進に資する国の総合戦略の利用、日赤病院の産婦人科誘致、民間学童である中里キッズ再開への取り組みは。

**A** 人口ビジョン達成で消滅は回避できる、とする自治体はない。国の戦略よりもNPO法人に期待。日赤病院への誘致を地域として働きかけている。民間学童は本来の中里地区での開設に向け県の審査中。

**Q** 町の事業は持続可能な仕組みの構築が必須。地方創生推進交付金の事業（一色小区再生協・東大跡地）の自立に向け、町の向き合い方は。

**A** そのとおり。一色小区再生協はしっかりサポートする。東大跡地事業は協議会と話しつつ行政が介入し、議会へも報告する。

**Q** 緊急対策では助成金が決定してから用途を検討していた感がある。新型コロナ禍が一過性でない限り、総合対策の策定によりあらかじめ受け皿を用意することが必須と考える。

**A** コロナ対策の中にワクチン、経済支援等すべてを入れることで、わかりやすくなるということであれば、次年度示し方を考えていきたい。

**Q** 自宅療養者が自宅で死亡する一方、民間医療機関には空きベッドが沢山あること、この事実が十分報道されないことに対する町長の見解は。医療逼迫は町民に不安を与えている。野戦病院的なものを設置する仕組みを構築し(先述の)「総合対策」に位置付けるべき。

**A** 自宅療養者に関して、平塚保健所はしっかり機能しているが、手に負えなくなったら町も次の手を打つ。野戦病院は法律に従い対応。その場合医療従事者と連携し、対応することになる。



東大果樹園跡地活用事業自立に向け  
町は積極的介入と議会への報告を

**Q** マスクは酸素吸収量の低下から呼吸器、脳、精神に悪影響、ウイルス、細菌、カビが定着、自然集団免疫の発達を妨げる等科学者が研究発表。新型コロナウイルスワクチン接種後の死者数が1100人を超えるも子ども達に接種するリスク評価が曖昧なまま。厚労省の農薬、化学物質の基準が先進国で格段に緩く、子宮頸がんワクチンは訴訟中で勧奨を撤回後も副反応の検証も治療の研究も無くリーフレット配布する等、本当に子どもの健康を護る体制なのか検証が必要。

**A** マスクは小児科学会が基本的な感染症対策としており、気温等、臨機応変に教職員と地域、家庭で対応する。ワクチン接種後の死者数は因果関係が評価できない状況。子どもの接種には多様な判断が必要。厚労省副反応情報のリンクを貼り丁寧に発信する。

**Q** 新庁舎ワークショップでは子どもが育つ町の感度の高い対話があった。東大果樹園跡地、エコフェスタにのみや、オーガニック給食を求める団体、野外保育団体、一色小学校のコミュニティ・スクールは自然の力を活かす新しい子育ての共(コモン)、二宮町のキラコンテンツだ。

これを語る条例と体现する教育体系が欲しい。山林整備や自然エネルギーもコモン(協働)の水平的な管理運営を町が取り入れられないか。

**A** 生活環境課関わったエコフェスタ「ぼくたちわたしたちの地球会議」で子ども達が里山保全、自然エネルギー会社などの住民活動を取材し未来に向けて発信するのを聞いた。町の計画に子ども達を参画させたい。災害予防のためにも、地主との対話を含め住民参加で民地の里山保全を進める支援を具体的に考える時期と思う。



「エコフェスタにのみや」デンマークとの交流や井上岳一氏の講演も

# 地方財政確保のための意見書を 政府・衆参両院議長に提出

## 「議員提出議案2号」

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

地方自治体は地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化、脱炭素社会の実現と共に社会保障等財政需要対応に迫られている。

財源不足は避けられず、地方財源の充実は不可欠である。

令和4年度地方財政対策及び地方税制改革に向け国に対して要望する。

- ・令和4年度以降の3年間の地方一般財源総額が令和3年度の水準を下回らないこと
  - ・固定資産税に関わる特例措置、自動車税環境性能割臨時的軽減延長等は本来国庫補助すべきであり、期限をもって終了すること
  - ・炭素税推進は地方税、地方譲与税として地方に税源配分すること
- 全会一致で可決

## 「議員提出議案3号」

新型コロナワクチン接種後の副反応の検証体制の充実、若年層に接種する判断材料を提供する国内の多様な第一線の研究者による審議会を設置及び分かりやすい最新の情報公開を国に求める意見書

(提出：一石議員、賛同：小笠原、渡辺、根岸議員)

本ワクチンは人間に初めて使用されるにも関わらず、異例の短期間で緊急承認された。8月24日までの接種後の死者数は1,000人を超え副作用件数は2万件に上る。

早急な検証体制の充実、子ども・若者が副反応に苦しむ事態を最小限に抑え、未来に禍根を残さない日本の防疫体制の充実と判断材料となる情報公開をもとめる。

賛成4：反対8で否決

## 条例

### 個人番号法の改正による条文の一部変更

議案第36号 個人情報保護条例の改正

議案第37号 手数料条例の改正

両議案とも賛成11：反対1で可決

**反対** この条例改正はデジタル庁発足に伴うもの。拙速な組織づくりで、官民の癒着や情報漏洩を懸念する。

## 各議員の議案に対する賛成・反対は？

		二宮せつこ	羽根かほる	松崎健	野地洋正	杉崎俊雄	坂本孝也	小笠原陶子	渡辺訓任	大沼英樹	前田憲一郎	根岸ゆき子	一石洋子	善波宣雄	結果
議員提出議案名 (左は議案番号)															
2	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応の検証体制の充実、若年層に接種する判断材料を提供する国内の多様な第一線の研究者による審議会を設置及び分かりやすい最新の情報公開を国に求める意見書の提出について	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
町長提出議案名 (左側は議案番号)															
34	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度二宮町一般会計補正予算 (第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	専決処分の承認を求めることについて (令和3年度二宮町一般会計補正予算 (第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	二宮町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
37	二宮町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	令和3年度二宮町一般会計補正予算 (第6号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
39	令和3年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	令和3年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	令和3年度二宮町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	令和3年度二宮町下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	令和2年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
44	令和2年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	令和2年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	令和2年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	令和2年度二宮町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	令和3年度二宮町一般会計補正予算 (第7号) ※	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。

※議長は採決に加わりません。

※議案第48号については、議員より修正案が提出された。○は原案に対して賛成、●は修正案に賛成。

# 一般質問

記事は質問者から提出された原稿を基に作成しています。



無所属

前田憲一郎

問

一般会計予算教育費編成の方針・根拠・内容についての考えは

答

次年度の重点施策に基づき決定する

Q 予算編成の方針・根拠・内容についての考えは。

A 方針は、町の総合計画や教育委員会基本方針の点検評価結果、教育課題などを踏まえ、重点施策を委員会内部で意思決定し、政策会議で最終決定する。

Q 二宮中学校のグラウンドベンチは、コンクリートが剥き出しのまま、一つ間違えば大きな事故になる危険がある。修繕もしくは撤去する必要がある。

A 学校の裁量で使える修繕費で段階的に修繕する。

Q 段階的に修繕など悠長なことを言っている場合ではない。修繕費は50万円しかない。事故が起らないうちに安全面を考慮し一気に直すべきだ。

A 学校側と話し合いを持っていく。

Q 二宮町では、不登校児童生徒が増えている。岐阜市では不登校特例校を市独自で開校した。特例校

設置に向け予算を確保し、検討していただけないか。

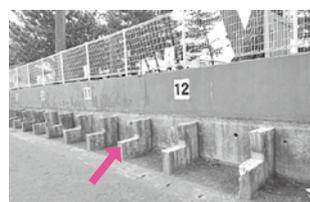
A 近隣の動向や取り組みを今後注視していく。

Q 本年度から全小中学校で教育活動の足並みをそろえたということだが、オンライン授業を学校ごとに進めることや、中学校の修学旅行も中止と延期。これで教育活動の足並みをそろえたと言えるのか。

A 9年間を通した取り組みについてカリキュラムの足並みをそろえたということだ。

Q 将来的に施設一体型になるわけなので緻密な計画を立て予算を確保すべきだと思うが。

A 施設一体型への方向性を整理する。



木が朽ちてコンクリートが剥き出しのグラウンドベンチ



無所属

羽根かほる

問

(仮称)新庁舎・駅周辺公共施設再編計画の全体像・財政・災害リスクを問う

答

安全・安心の確保になる庁舎と老朽化した駅周辺施設の将来の姿を示す計画策定中

Q 新庁舎・駅周辺公共施設再編計画の全体像は。

A 災害対応の拠点としての新庁舎整備を最優先にラディアン周辺への行政機能集約、老朽化した駅周辺公共施設の将来の姿を示すための計画を策定している。

Q 計画の財政面は。

A 総事業費を20億円と仮定した場合、令和7年度の竣工に向け、令和3年度から4年間、年度9,000万円を積み立て、当初想定4億円に加え、庁舎整備基金全体として7億6,000万円の積み立てを目指す。

Q 新庁舎候補地の浸水リスクは。

A ラディアン周辺の第一駐車場、果樹公園は、50年に一度の大雨では浸水しない。国土交通省の1,000年に一度の想定では、第一駐車場は97センチ2時間が最大の浸水。ラディアン前の県道はある程度浸水する。

Q 浸水時、職員は庁舎に入れないのか。

A 浸水範囲はわかっている。う回路は確保できる。

Q 町長は総括質疑で第6次総合計画作成にあたり、災害や風雨の備えをすると答弁された。町民が安心できる計画なのか。

A 安全・安心の確保になる庁舎でなくてはならない。災害時を想定しながら取り組む。

Q なぜ浸水リスクのあるラディアン周辺か。

A ラディアンは大きく成長した。庁舎建設との相乗効果でより暮らしやすく、生活の質が豊富になるような場所に、新庁舎を造っていきたい。



庁舎の新候補地・花の丘公園周辺は安全安心か？

# 一般質問



無所属

大沼 英樹

**問** 災害に対する認識と現行施政に問題が無いかを問う

**答** 科学的な検証の結果がハザードマップであり周知に努める

**Q** 7月3日吾妻山からの土砂流出時、複数の歩行者が泥の中を通行しようとしたが、危険の認識は。

**A** 通行止めは伝えたが、細部までの認識はなかった。

**Q** ラディアン周辺の町施設は避難所指定がなく、浸水リスクを理解しているのか。

**A** 浸水の危険はハザードマップに記されている。

**Q** 滝のような雨が増えリスク倍増だが1,000年に1回と言われる雨はあちこちで降っていないか。

**A** 各地区で降っている認識はある。

**Q** 濁流から水しかあふれないという認識か。

**A** 過去の溢水時に砂や草木が道路に出ていた。

**Q** 災害対策本部は合議体との事で、指揮や総合調整の連携を危惧する。責任所在を明らかにすべき。

**A** 一人の犠牲者も出さないよう取り組んでおり、

責任を押しつけない方法を探りたい。

**Q** 町長自ら風雨災害の危険性を認め、移転先庁舎に被害が発生したら人災である。新庁舎建設構想を変更する気はないか。

**A** 科学的データとリスクを受け止め、新しい最大の防災拠点となるように進めていく。

**【要望】** 現町政は思いつきの事業が多く感じられる。町の将来設計は100年先を見越した計画でなければならず町民の安全・安心という言葉だけ独り歩きして中身がなければ守れない。全町民に利益をもたらす事業を進めることを求める。



各部署への指揮命令、総合調整や町長への助言、消防との連携が困難  
災害対策本部の組織運営には危機管理監が必要である



日本共産党

渡辺 訓任

**問** コロナ在宅療養者に、県と協定を結び状況把握・生活支援など寄り添う施策を

**答** 在宅療養者への支援については県とも連携して考えていく

**Q** 7・8月の新規感染者数は県基準ステージ4に達し、20代を中心に若い方が目立った。医療・施設従業者の感染もある。集団接種の時間を夜間・平日に広げるなど、接種を受けやすくすることはできないか。

**A** 疫学的調査は、法に基づき平塚保健所が行うことになっているが、町に情報提供はない。ワクチンは個別接種の予約枠を使って受けて欲しい。

**Q** コロナは無症状者が感染を拡げることが特徴。学校を安全な場所にするため、定期的に家庭で検査ができるよう抗原検査キットを配布しては。

**A** 国は1校20セットで教職員に、県は児童生徒一人あたり2セット配布、具合の悪い時の使用を想定。感染確認時は、濃厚接触者の行動を調査し拡大を防ぐ。

**Q** コロナ感染でのいじめが心配だ。対応はどうか。

**A** 人権教育も功を奏し、現時点でコロナ感染に関するいじめは起こっていないと認識している。

**Q** 在宅療養をされた方から「医療関係者への連絡も付にくく『自宅放置』だった」という訴えが届いた。町が在宅療養者を把握、困りごとを聞く・配食以外にゴミ捨てなどの生活支援を行うことを求める。

**A** 県の配食は感染確認4日目以降。それまでの間、在宅療養者の個人情報も考慮し、連絡があった場合に配食を行うに留めている。支援は県と連携して考える。  
\*他に吾妻山のナラ枯れ・管理保全対策にあたり、コーディネーター配置を含む体制づくりを求めた。



在宅療養者にパルスオキシメーターと物資が送られる



無所属  
野地 洋正

問

吾妻山公園の新たな魅力づくり  
「新生・長期計画」を求めるが

答

計画の策定は考えていない  
できることから整備していく

Q シンボル、宝である吾妻山の核、35周年を迎える吾妻山公園の整備、維持管理はどうしているか。

A 令和2年度は総額3,470万円(借地料1,500万円、高木剪定料200万円ほか)を要し、自然に親しめる憩いの場、体力増強の場として適切に管理をしている。また、平成21年度には再整備計画を策定し、老朽施設の整備やバリアフリー化を行った。

Q 景観、安全、観光、産業、歴史等、近年求められる価値活用は変化している。将来の吾妻山の位置づけ、理想の吾妻山公園をどのように考えるか。

A 緑を保護し自然環境に配慮した整備、管理が必要と考える。頂上付近の高木剪定作業については今年度から5か年の計画で進めている。

Q 新たな価値活用に対する課題、対策は。

A 市街化調整区域、風致地区であることに加え、75件の借地が課題としては大きく、要望をすべて取り入れることは難しい。

Q 計画に沿って長期的に整備、管理ができるよう、新たに魅力創造計画を町民とともに築き上げる考えはないか。

A すぐに策定することは考えていないが、高木剪定や園路の改修、頂上への送迎など、要望にそってできることから進めていく。

【要望】新たな価値、活用が求められている。委員会等を立ち上げ、魅力創造「吾妻山公園新生・長期計画」の策定を求める。



新たな価値、魅力創造が求められる宝「吾妻山」

## 常任委員会 継続調査

### 総務建設経済常任委員会

#### 「有休荒廃地の有効活用」

住宅地にまで出現する有害鳥獣の問題は耕作放棄等による荒廃地の増加と大きく関係する。

後継者不足問題や家庭菜園等の民間活用も視野に入れ、農地等の有効利用などを研究している。

峯山周辺(中里)で荒地解消の実例を検証する。

①農業委員会・農業従事者・地権者の声を聞き課題抽出

②通路整備等の有効性を調査

未活用の町所有地(旧園芸試験場第二圃場)についても売却を含め利活用の検討が必要。

軽自動車等の乗り入れや駐車場所を確保する事で、人・物の運搬ルートを確保し利便性を高め、荒地の解消に結び付けられるよう予算化を目指す。有効性が得られれば、町の継続事業として取り入れるよう提言を進める。



住宅地にも鹿・イノシシが出没

### 教育福祉常任委員会

#### 「二宮町の資源を生かした

#### 子どもの育成環境について」

不登校や不登校の前段階における子どもたちの居場所づくりに関して

①不登校に関する保護者のヒアリングを実施した。

②教育総務課のヒアリング 当事者の声を聞き、現場での動きを知る事で不登校対応についての課題を絞っていった。

・教育支援室「やまびこ」を生かした提案

・学校現場に人材の充実

・不登校児童生徒の居場所の選択肢などが必要ではないか、という意見が出された。

予定していた町内フリースクール2件への視察を、緊急事態宣言によって10月に延期、場所も役場でヒアリングする事に変更。5校全体で推進する「小中一貫教育に取り組むための一人も取り残さない集団づくり」についても講演を受ける予定。

教育委員会事務所の奥。「やまびこ」は2階



# シリーズ 「コロナ禍の中で私たちの暮らしを支える」 町の事業者を商工会が支援

町の多くの商工業者が加入する商工会は、会員への総合的な経営支援と地域振興事業に取り組んでいる。今号では、コロナ禍で町の事業者を支える二宮町商工会会長、事務局長に、事業環境の変化や町と議会に対する声を伺った。



プレミアム商品券は商工業者からも高評価

## コロナ禍で厳しい経営状況は続く 直接支援と消費喚起の両面が必要

### Q コロナ禍が長引いている中、町の商工事業者の状況はいかがですか？

- この夏に会員にアンケートをとった。回答者の4分の3が売り上げ・客数・来店頻度のすべてが減少し、コロナの影響を受けていると回答。
- 影響が大きい飲食店の中には完全休業している店もある。経営の状況は悪化している。

### Q 町の支援策に対する評価は？

- 中小企業等事業継続支援金やプレミアム商品券の評価が高い。
- 飲食店応援クーポンは利用率が高く、事業継続の下支えとなっている。

### Q 町や議会に対しての要望は？

- 直接給付と、クーポンのような生活者の消費喚起策の組み合わせと、金融支援を要望する。
- 飲食店応援クーポンの第2弾を検討して欲しい。商工会としてもプレミアム率など、より多くの方が利用できるような検証をしていきたい。
- アフターコロナを見据えた事業支援策の策定・実施を望む。行政と議会の連携強化に期待する。

## スローフード・スローライフにのみや を模索していきたい

### Q 町民のみなさんに伝えたいことは？

- 青年部も女性部も自ら国の補助金を獲得し、後継者育成や移住者創業支援、湘南オーリーブ関連の商品開発など、地域振興の活動をしている。そういった姿を知っていただきたい。
- 環境に配慮する「スローフード」「スローライフ」をキーワードとする地域振興策を模索していく。

出張「この屋」で、にのみやブランドを宣伝と販売



## 議会のお知らせ



### みんなでLet's 傍聴

傍聴しやすくとの声を受け、細かい入場禁止規定を、廃止します。  
例えば、次のことが可能に  
★乳幼児を連れての傍聴  
★撮影・録音（許可は必要）

### 議会報告会は中止

9月定例会後のシェア二宮はコロナ感染拡大防止のため、実施いたしません。  
今後は、協議のうえで開催するかどうかを決定できるよう要項を改正しました。

### 決算審査特別委員会で 新方式試行

- 一問一答方式に変更
- 時間はおおむね10分、2回まで
- 予定時間内であれば、傍聴議員も質問可

この試行により、質問と答弁の内容が簡潔明瞭となり、わかりやすくなりました。これからも会議の運営改善を進めていきます。

### 編集後記

「性善説で」と議会傍聴規則を最低限の文言に変えた箱根町議会。二宮町議会ではかねてから議論があったが、この言葉にウイズコロナの新しい連帯するまちづくりの大きなヒントがあると思った。このことを今号で伝えることができた。人は良きことで繋がるはず。（一石）



議会へのご意見はこちら

### ◎議会だより編集委員

委員長 渡辺 訓任  
副委員長 前田憲一郎  
委員 野地 洋正  
小笠原陶子  
大沼 英樹  
一石 洋子